

大阪のオアシス 信太山丘陵

里山的自然環境を
子どもたちに残そう



惣ヶ池湿地

特定非営利活動法人
信太の森FANクラブ

私たちは、信太山丘陵の里山的自然環境を後世に残すために2008年に信太の森FANクラブを結成しました。

市街地に囲まれながら生物多様性に富む里山的自然環境を残している全国的にも稀な存在（※）であり、観察会や保全活動を通じて多くの方々に魅力を伝え、大阪のオアシスとして活用していただきたいと考えています。

また、和泉市信太山丘陵市有地16haにおいては、大型スポーツ施設が計画されていたものを「里山自然公園を」と運動を進めた結果、2011年に請願が採択され2015年に公民協働による「公園協議会」が発足し、私たちもその一員として参画しています。

一方、隣接する「惣ヶ池湿地」は、1999年より「大阪みどりのトラスト協会」が管理し2014年からは、私たちが中心になって保全活動を行っています。

※大阪府レッドリスト2014年度版生物多様性ホットスポットAランクに指定されています。

入会のご案内

	個人	団体
年会費	2000円	10000円
賛助会費	1000円	5000円

どなたでも入会できます。会員には、会報誌「信太の森ニュース」が届きます。会員は観察会参加費無料です。

〒594-0013
和泉市鶴山台3丁目4-1-202
NPO法人 信太の森FANクラブ事務局
TEL 090-1225-9159
mail tamahati@amber.plala.or.jp
URL <https://shinodanomori-fan.com>

信太の森2016 検索



信太山丘陵の 里山公園づくり

信太山丘陵は、「山川、草木、海など、人類がそこで生まれ生活してきた場」として長く自然が保たれてきました。

昭和30～40年代まで、牛馬の飼料、田畑の肥料、薪炭や柴の供給源として里の暮らしと密接な関係にありましたが、農業の改革や石油燃料の出現とともに茅や木々が使われなくなり、草原や林が放置されると共に雑草木が繁殖する状態になっています。

今、人が手を加えることで管理、維持されてきた里地里山の生物多様性豊かな自然を、次の世代に残すことが大きな課題となっており、私たちもさまざまな活動を行っています。



草原を利用した綿布の晒干し



雑草木が繁る草原



カマを使って草刈り

里山保全活動に あなたも参加しませんか

◎活動日 奇数月 第2水曜日 偶数月 第2日曜日
◎活動時間 10:00～15:00
◎集合 10:00
◎集合場所 惣ヶ池湿地格納庫前



湿地性植物の保全



復元された草原



ウチワヤンマ



オオタカ



アサギマダラ



ハラビロトンボ



カワセミ



ニホンアカガエル



新しい発見が
いっぱい！



カンムリカイツブリ



観察会に参加しませんか

毎月第4日曜日開催

集合時刻 午前10:00

解散時刻 午前12:30

集合場所 和泉市惣ヶ池公園

参加費 300円



ホソバリンドウ



コバナノ
ワレモコウ



コモウセンゴケ



アキナシ



キキョウ



オミナエシ



JR北信太駅・北信太駅南(南海バス)・惣ヶ池公園
JR北信太駅・徒歩30分約2km・惣ヶ池公園



くわしくは、ホームページをご覧ください。
観察会などで撮影した写真のホームページ等への掲載に支障のある方はお申し出ください。